

## 【田布施町】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現をめざす学びの姿

「令和の日本型学校教育」の構築に向け、令和3年1月26日付で中央教育審議会から「「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」が答申された。この中で、ICTの活用と少人数によるきめ細かな指導体制の整備により、「個に応じた指導」を学習者視点から整理した概念である「個別最適な学び」と、これまでも「日本型学校教育」において重視されてきた「協働的な学び」とを一体的に充実することが示された。

このことを踏まえつつ、本町では、令和2年度に整備した1人1台端末と通信ネットワーク等のICT環境を効果的に活用して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させて子どもたちの可能性を最大限に広げる「たぶせスマートスクール構想」を推進し、児童生徒の成長の最大化を図る。

#### 2 GIGA第1期の総括

本町では、令和2年度に小中学校に合計1,206台(iPad)の端末整備を行うとともに、大容量の通信ネットワークを整備するなど、ICT環境の充実に取り組んできた。

こうした環境を各教科の授業や総合的な学習の時間等で活用するなど、児童生徒の情報活用能力の育成を図っている。

また、教職員のICT活用指導力の向上のための取組も進めており、クラウドサービスの基本的な操作方法やアプリケーションの授業での活用事例に関する研修を実施している。

今後は、児童生徒自身が普段からICTを文房具として自由な発想で活用できるようにするために、ICT環境の整備や、授業をデザインする教員のICT活用指導力の向上に加え、児童生徒一人ひとりの情報活用能力を一層育てていくことが求められる。特に、子どもたちが積極的にICTを活用していくことを前提とした情報モラル教育を推進していく必要がある。

#### 3 1人1台端末の利活用方策

本町では、「たぶせスマートスクール構想」のもとでICT環境を整備し、GIGA第1期における成果を上げてきた。今後は、社会全体のDXが加速することを踏まえて、教育データやクラウド環境の活用による児童生徒一人ひとりにあった学びの支

援や校務のデジタル化を促進し、「たぶせスマートスクール構想」を次のステージに押し上げていきたい。

そのためにも、端末の整備・更新を確実にを行い、児童生徒の1人1台端末の環境を引き続き維持し、以下を踏まえた活用を推進していく。

(1) 端末の家庭への持ち帰りを日常化し、児童生徒が自分で調べ、考えをまとめる場面での活用など、様々な学習の場面で活用する。

(2) オンライン授業の実施等1人1台端末を活用することにより、学びの幅を広げ、さまざまな状況の児童生徒に学習機会を確保していく。また、不登校児童生徒や特別な支援を要する児童生徒に対し、実態に応じた端末活用を進めていく。